



アザメ新聞は相知町佐里下地区で行われている自然再生事業の進展をお伝えする新聞です。

この事業は住民参加の事業で、どなたでも検討会に参加できます。

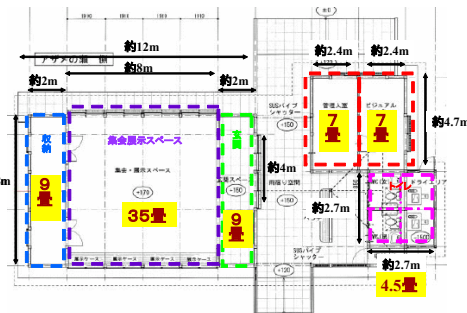
V o l . 1 7では第27、28回検討会、アザメの瀬研究発表会、イダ嵐見学会の内容をお伝えしました

V o l . 1 8では第29、30、31回検討会、皇太子殿下視察、アザメの瀬シンポジウムの内容をお伝えします。

第29回アザメの瀬検討会 H16.4.14

第29回アザメの瀬検討会では、主に新メンバーの紹介、アザメの会によるイダ嵐の報告、第1回アザメの瀬研究発表会の報告、ビジターセンターの間取りの再確認、今年度の工事の内容等を話し合いました。

第28回の検討会より右のような間取りの修正案を第29回で話し合いました。出された意見・決まったことは以下の通りです。



- ①コンクリートの床に樹脂シートを張れば、掃除もしやすいのでは？
→アザメにマッチするのはフローリング（全員一致で決定！）
- ②アザメの瀬の中に入ると足が汚れる。足洗い場があった方がいい！
→ 全員一致で設置することに決定！



皇太子殿下アザメの瀬視察！ H16.4.24

相知町佐里地先に皇太子殿下が「みどりの愛護」の一環としてアザメの瀬をご見学されました。その際、展示する魚を地元の方と事務所職員で採ったり、『アザメの瀬だからアザミの花を！！』ということで、地元の方が事前に立派なアザミの花を取ってきて、鉢植えして生かしたり、アザメの瀬周辺（松浦川も含めて）を地元総出で掃除したりと大忙しでした。



←殿下と地元の方の間にあるアザメの花。この日に相応しい立派なアザミでした！



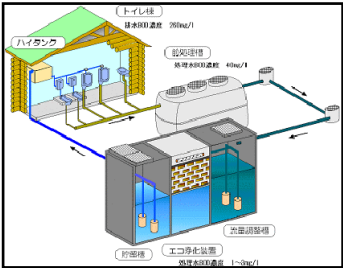
平成16年4月25日佐賀新聞より抜粋

魚の説明にあたった久我さんは『「松浦川特有のヨシノボリに興味があるというだった何でも知っておられた」と感心された様子でありました。』

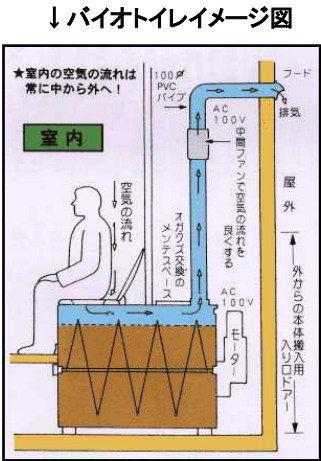
第30回アザメの瀬検討会 H16.5.27

第30回アザメの瀬検討会は、主にビジターセンターの間取りの再確認、環境に配慮したトイレ(エコトイレ・バイオトイレ)のどちらをビジターセンターに設置するかという話をしました。
出た意見・決まったことは以下の通りです。

- ①間取りの配置は設計通りでOK!
- ②バイオトイレは聞こえはいいが10年後は誰が管理するの?先行きが不安である。
- ③今までもアザメの中では新しいものを取り入れてきた。うちが他施設の見本になるという点でバイオトイレは魅力的である。



↑エコトイレイメージ図



②③の意見があったのでみんなで実物を見て決めようと言うことになり、第31回検討会はトイレの施設見学です。

アザメの瀬シンポジウムの開催 H16.5.29

相知交流文化センターにて応用生態工学会主体によるアザメの瀬シンポジウム「自然再生事業における市民参加」が開催されました。講演では事業紹介として武雄河川事務所、基調講演として九州大学島谷幸宏先生(元武雄河川事務所長)、研究紹介として東京大学渡辺敦子さん、活動報告としてはアザメの会より山口直行会長、厳木高校より「土壌シードバンクを用いた自然再生の研究」ということで発表が行われました。



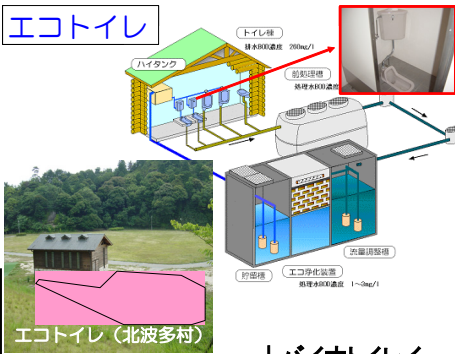
パネルディスカッションのパネラーとしては鷲谷先生を始めとする全国でも有名な先生方が参加されました。シンポジウムの参加者は約100名ほどでした。



第31回アザメの瀬検討会 H16.6.24

第31回アザメの瀬検討会では、バイオトイレ(肥前町:自然体験ハウス)・エコトイレ(北波多村:四季の丘公園)の現地見学会を行いました。現地見学会でそれぞれ実物のトイレを見た後に検討会を行い、どちらのトイレを設置するか検討しました。出された意見、決まったことは以下の通りです。

- ①バイオトイレは、おがくずの交換が大変すぎて、今後の維持管理が不安である。
- ②エコトイレは普通のトイレと見た目は全く変わらないため、誰でも違和感なく使用できそう。



↓バイオトイレ



①②より、みんなで話し合った結果、エコトイレを採用する事となりました。今後もこのように、みんなで納得するまで話し合い、決める姿勢を頑張ってやっていきましょう!